

<本校男子>

【実技の状況について】

- 握力（筋力） →全国平均を上回っている。
- 上体起こし（筋パワー、筋持久力） →全国平均を下回っている。
- 長座体前屈（柔軟性） →全国平均を下回っている。
  
- 反復横跳び（敏捷性） →全国平均を下回っている。
- 持久走（長距離走能力） →全国平均を上回っている。
  
- 20mシャトルラン（全身持久力） →全国平均を下回っている。
- 50m走（疾走能力） →全国平均を下回っている。
- 立ち幅跳び（筋パワー、跳躍能力）  
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- ハンドボール投げ（投球能力） →全国平均を下回っている。

【児童生徒質問紙について】

- 運動が好き、やや好き →84.8%（全国平均 89.4%）
- 保健体育の授業は楽しい、やや楽しい  
→89.8%（全国平均 89.4%）
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の児童（生徒）の割合 →15.2%（全国平均 7.1%）
- 卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う、やや思う →84.9%（全国平均→79.2%）
- 朝食は毎日食べる →89.9%（全国平均 81.6%）
- 保健体育の授業で、自分に合った練習や場を自分なりに選んで活動することを行っている、やや行っている  
→90.4%（全国平均 68.2%）

<本校女子>

【実技の状況について】

- 握力（筋力） →全国平均を上回っている。
- 上体起こし（筋パワー、筋持久力） →全国平均を下回っている。
- 長座体前屈（柔軟性）  
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 反復横跳び（敏捷性） →全国平均を下回っている。
- 持久走（長距離走能力）  
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 20mシャトルラン（全身持久力） →全国平均を下回っている。
- 50m走（疾走能力） →全国平均を下回っている。
- 立ち幅跳び（筋パワー、跳躍能力） →全国平均を下回っている。
- ハンドボール投げ（投球能力） →全国平均を下回っている。

【児童生徒質問紙について】

- 運動が好き、やや好き →73.8%（全国平均 79.2%）
- 保健体育の授業は楽しい、やや楽しい  
→83.8%（全国平均 83.6%）
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の児童（生徒）の割合 →26.3%（全国平均 19.4%）
- 卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う、やや思う →76.3%（全国平均→70.5%）
- 朝食は毎日食べる →82.5%（全国平均 78.2%）
- 保健体育の授業で、自分に合った練習や場を自分なりに選んで活動することを行っている、やや行っている  
→84.8%（全国平均 67.7%）

今回の調査結果の傾向

【実技の状況について】

- 男女ともに、全体的に全国平均よりも下回っていることが課題としてあげられる。
- 特に、以下の種目で全国平均との開きが大きい。
  - ・男子→反復横跳び（敏捷性）、ハンドボール投げ（投球能力）
  - ・女子→上体起こし（筋パワー、筋持久力）、20mシャトルラン（全身持久力）、50m走（疾走能力）、ハンドボール投げ（投球能力）

【運動習慣等について】

- 「運動が好き」と考える生徒の割合は全国平均よりも下回っているが、「卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたい」と考える子どもの割合は高い値を示しており、運動の必要性の理解がされていることが伺える。
- また、「自分に合った練習や場を自分なりに選んで活動することを行っている」生徒の割合が非常に高いが、実際に運動時間が60分未満の子どもの割合が高く、ほとんど運動をしない子どもに対する取組に課題がある。

改善の方向

- 疾走能力や投球能力を高めるには、コズモタイムなどの自由時間に運動できる機会や物理的な環境を提供する。
- 運動の必要性を理解していても、実際に運動に至らない生徒に対して、簡単な運動や遊び感覚でできる運動を紹介するなどして、運動の楽しみを実感できる指導の工夫を図る。
- 家庭と連携し、休日などを利用して運動をする機会を増やす取組を推進する。